



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社松家ホールディングス 上場取引所 名  
 コード番号 1413 URL <http://hinokiya-holdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 島田 幸雄 (TEL) 03-5224-5121  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 平成26年9月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	35,289	50.3	1,212	166.0	1,393	130.5	556	37.7
25年12月期第2四半期	23,474	15.8	455	△41.7	604	△33.7	403	△5.3

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 639百万円( 38.9%) 25年12月期第2四半期 460百万円( 0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	40.96	37.34
25年12月期第2四半期	29.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	40,650	13,765	27.3
25年12月期	32,574	13,478	33.7

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 11,104百万円 25年12月期 10,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年12月期	—	25.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,400	26.8	4,400	3.3	4,700	4.4	2,500	△24.5	184.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) 北都ハウス工業株式会社、ライフサポート株式会社

除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」の「(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年12月期 2 Q	13,575,000株	25年12月期	13,575,000株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期 2 Q	193株	25年12月期	193株
-------------	------	---------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期 2 Q	13,574,807株	25年12月期 2 Q	13,574,852株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に消費税率引上げに伴う駆け込み需要と一部反動減の弱い動きが見られるものの、金融政策をはじめとした各種経済政策を背景に、企業収益が回復し雇用情勢が改善するなど、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

住宅業界におきましては、戸建住宅を中心に消費税率引上げ前の駆け込み需要とその反動により、当社グループの注文住宅事業に関連の深い持家の新設住宅着工戸数は、前年同月比で5ヶ月連続減少となり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもとで、当社グループ経営理念「最高品質と最低価格で社会に貢献」に基づき各事業セグメントにおいて、お客様のニーズにあった新商品開発と展示場作り、住宅関連サービスの拡充等に加え、第1四半期連結会計期間より、新たに介護及び保育事業に参入し、売上拡大に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は352億89百万円（前年同期比50.3%増）、営業利益は12億12百万円（前年同期比166.0%増）、経常利益は13億93百万円（前年同期比130.5%増）、四半期純利益は5億56百万円（前年同期比37.7%増）となりました。

セグメント別の業績(セグメント間の取引消去前)

## ① 注文住宅事業

注文住宅事業におきましては、当社グループの主力事業である注文住宅分野の全国ベースの持家住宅着工数は140千戸（前年同期比11.9%減）となりました。

このような状況のもとで、完成引き渡しに堅調に推移したことに加え、当社の連結子会社となった北都ハウス工業株式会社の業績が寄与し、販売棟数及び売上高は前年同期を上回りました。一方、住宅展示場への新規出展及びモデルハウスのリニューアル、新商品「スマート・ワン アクティブガレージ」やオリジナル商材の発売、テレビCM、販売キャンペーンの実施、さらに各種見学会（完成現場・断熱構造・施住宅）の開催を強化するなど受注拡大に取り組みましたが、駆け込み需要の反動により受注は前年同期を下回りました。

この結果、受注棟数1,226棟（前年同期比4.4%減）、受注高228億39百万円（前年同期比9.5%減）、売上棟数1,032棟（前年同期比38.0%増）、売上高は200億94百万円（前年同期比33.6%増）、セグメント利益（営業利益）は3億24百万円（前年同期比99.1%増）となりました。

## ② 不動産事業

不動産事業におきましては、販売政策の見直しにより商品回転率の向上を意識した運営に取り組んできた効果が徐々に表れてきたこと及び当社の連結子会社となった北都ハウス工業株式会社の業績が寄与したことにより、販売棟数及び売上高は前年同期を上回りました。利益面においても、売上原価と販売費及び一般管理費の低減に努めたことにより前年同期を上回りました。

この結果、売上棟数124棟（前年同期比55.0%増）、売上高は56億1百万円（前年同期比53.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1億12百万円（前年同期は営業損失1億82百万円）となりました。

## ③ 断熱材事業

断熱材事業におきましては、広い営業エリア及び施工能力の優位性を活かし、戸建住宅分野において消費税増税前の駆け込み需要に対応した受注を順調に獲得できたことやその他建築物の受注獲得も順調に推移したことによって、施工棟数及び売上高は前年同期に比べ大幅に増加しました。また、さらなる需要増に対応するため営業拠点の増設及び施工体制の強化に積極的に取り組んでおります。

この結果、売上高は60億14百万円（前年同期比48.9%増）、セグメント利益（営業利益）は5億10百万円（前年同期比93.9%増）となりました。

## ④ 介護保育事業

第1四半期連結会計期間より当社の連結子会社となったライフサポート株式会社が介護保育事業を行っております。介護事業におきましては、介護付有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の運営を行っており、各種イベント、施設見学会等を積極的に開催し、各施設の入居率向上に取り組まれました。保育事業におきましては、認可保育所、東京都認証保育所等の運営を行っており、4月に認可保育所「ゆらりん山川保育園」を開設しました。また、自治体から学童クラブ、子育て支援施設4ヶ所の運営を受託するなど、事業拡大に努めました。

この結果、売上高は18億40百万円、セグメント損失（営業損失）は72百万円となりました。

⑤ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業におきましては、当社が所有するテナントビル「クッキープラザ」の収益力向上に向けたテナントの誘致に取り組んでおります。

この結果、売上高は2億55百万円（前年同期比46.6%増）、セグメント利益（営業利益）は76百万円（前年同期比196.9%増）となりました。

⑥ その他

その他におきましては、持株会社としての事業、戸建賃貸住宅事業、リフォーム事業、FC事業等が含まれており、これらの事業の売上が順調に推移しました。特に、連結子会社からの受取配当金が業績に大きく寄与いたしました。

この結果、売上高は78億29百万円（前年同期比208.0%増）、セグメント利益（営業利益）は57億96百万円（前年同期比387.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は406億50百万円（前連結会計年度比24.8%増）となり、前連結会計年度末に比べ80億76百万円の増加となりました。

流動資産は252億22百万円（前連結会計年度比11.8%増）となり、26億64百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、現金及び預金の3億80百万円の増加、受取手形及び売掛金の3億43百万円の増加、販売用不動産の3億41百万円の増加、未成工事支出金の4億98百万円の増加と、一方で完成工事未収入金の1億83百万円の減少等によるものであります。

固定資産は154億27百万円（前連結会計年度比54.0%増）となり、前連結会計年度末に比べ54億11百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、主として北都ハウス工業株式会社及びライフサポート株式会社の新規連結並びに本社東京移転に伴う有形固定資産の42億49百万円の増加、のれんの7億28百万円の増加等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は268億84百万円（前連結会計年度比40.8%増）となり、前連結会計年度末に比べ77億88百万円の増加となりました。

流動負債は225億50百万円（前連結会計年度比21.2%増）となり、前連結会計年度末に比べ39億48百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、短期借入金の30億円の増加、1年内償還予定の社債4億50百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金16億51百万円の増加、未成工事受入金の10億38百万円の増加と、一方で工事未払金の19億7百万円の減少、未払法人税等の2億68百万円の減少等によるものであります。

固定負債は43億34百万円（前連結会計年度比777.6%増）となり、前連結会計年度末に比べ38億40百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、主にM&A資金として調達した長期借入金の32億35百万円の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は137億65百万円（前連結会計年度比2.1%増）となり、前連結会計年度末に比べ2億87百万円の増加となりました。

この増加の主な要因は、少数株主持分の1億45百万円の増加、四半期純利益の5億56百万円と配当金4億7百万円による利益剰余金1億48百万円の増加等によるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は27.3%（前連結会計年度比6.4ポイント減）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億80百万円の増加となり、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は83億92百万円となりました。営業活動で29億50百万円の支出（前年同期は28億29百万円の支出）、投資活動で3億93百万円の支出（前年同期は11億60百万円の支出）となり、財務活動

で37億25百万円の収入（前年同期は49億66百万円の収入）となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは29億50百万円の支出（前年同期は28億29百万円の支出）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益12億25百万円（前年同期は8億65百万円）、未成工事受入金の増加額42百万円（前年同期は19億86百万円の増加）、未成工事支出金の減少額36百万円（前年同期は11億75百万円の増加）、販売用不動産の減少額1億26百万円（前年同期は3億77百万円の増加）があり、一方で仕入債務の減少額23億6百万円（前年同期は31億16百万円の減少）などがあったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは3億93百万円の支出（前年同期は11億60百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の売却による収入2億97百万円（前年同期は1百万円の収入）、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入3億41百万円、保険積立金の解約による収入2億65百万円があり、一方で展示場の新規出展及び本社東京移転等に伴う有形固定資産の取得による支出11億47百万円（前年同期は10億92百万円の支出）、差入保証金の差入による支出1億48百万円（前年同期は83百万円の支出）などがあったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは37億25百万円の収入（前年同期は49億66百万円の収入）となりました。これは、長期借入金の返済による支出26億75百万円（前年同期は6億29百万円の支出）、配当金の支払額4億7百万円（前年同期は3億52百万円）があり、一方で短期借入金の純増による収入22億85百万円（前年同期は50億75百万円の収入）、長期借入れによる収入44億80百万円などがあったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で平成26年2月10日に公表した計画から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、北都ハウス工業株式会社の発行済株式の全部を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。また、従来当社の持分法適用関連会社でありましたライフサポート株式会社の株式を追加取得し子会社としたことに伴い、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,011,846	8,392,370
受取手形及び売掛金	2,019,213	2,362,688
完成工事未収入金	273,215	89,840
営業未収入金	27,068	48,580
販売用不動産	7,773,397	8,114,959
未成工事支出金	2,907,894	3,406,793
材料貯蔵品	154,210	269,354
その他	1,399,237	2,546,478
貸倒引当金	△7,663	△8,290
流動資産合計	22,558,420	25,222,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,506,632	7,104,236
土地	3,075,409	4,489,690
その他(純額)	867,626	1,105,557
有形固定資産合計	8,449,669	12,699,484
無形固定資産		
のれん	61,823	790,770
その他	119,911	142,581
無形固定資産合計	181,734	933,352
投資その他の資産		
その他	1,443,614	1,853,215
貸倒引当金	△58,918	△58,212
投資その他の資産合計	1,384,695	1,795,003
固定資産合計	10,016,098	15,427,840
資産合計	32,574,519	40,650,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	5,229,599	3,322,046
買掛金	2,041,477	1,861,363
短期借入金	1,500,000	4,500,000
1年内償還予定の社債	—	450,000
1年内返済予定の長期借入金	73,352	1,725,004
未払法人税等	847,758	578,847
未成工事受入金	6,767,429	7,806,294
賞与引当金	119,969	238,985
その他	2,022,653	2,067,952
流動負債合計	18,602,240	22,550,492
固定負債		
社債	—	50,000
長期借入金	—	3,235,254
その他	493,874	1,049,134
固定負債合計	493,874	4,334,388
負債合計	19,096,115	26,884,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	389,900	389,900
資本剰余金	339,900	339,900
利益剰余金	10,174,655	10,323,420
自己株式	△183	△183
株主資本合計	10,904,271	11,053,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,082	51,746
その他の包括利益累計額合計	59,082	51,746
新株予約権	—	50
少数株主持分	2,515,050	2,660,902
純資産合計	13,478,404	13,765,735
負債純資産合計	32,574,519	40,650,616



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	23,474,708	35,289,879
売上原価	17,544,007	27,273,838
売上総利益	5,930,701	8,016,040
販売費及び一般管理費	5,474,915	6,803,844
営業利益	455,785	1,212,195
営業外収益		
受取利息	118	705
受取配当金	3,177	5,350
紹介手数料収入	29,648	32,351
保険事務手数料	71,635	100,814
アフター工事収入	25,955	25,598
売電収入	—	18,851
その他	52,971	82,953
営業外収益合計	183,506	266,624
営業外費用		
支払利息	21,524	44,406
売電費用	—	16,704
その他	13,166	23,862
営業外費用合計	34,691	84,972
経常利益	604,600	1,393,847
特別利益		
固定資産売却益	—	64,308
保険解約益	—	48,482
持分変動利益	303,736	—
特別利益合計	303,736	112,791
特別損失		
固定資産除売却損	29,128	20,636
減損損失	11,287	100,606
投資有価証券評価損	2,729	—
期限前弁済精算金	—	50,060
持分変動損失	—	110,268
特別損失合計	43,145	281,572
税金等調整前四半期純利益	865,191	1,225,066
法人税、住民税及び事業税	385,231	652,997
法人税等調整額	32,098	△74,280
法人税等合計	417,329	578,717
少数株主損益調整前四半期純利益	447,861	646,349
少数株主利益	44,221	90,339
四半期純利益	403,640	556,009

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	447,861	646,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,310	△7,321
その他の包括利益合計	12,310	△7,321
四半期包括利益	460,172	639,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415,951	548,671
少数株主に係る四半期包括利益	44,221	90,355

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	865,191	1,225,066
減価償却費	398,863	577,183
減損損失	11,287	100,606
のれん償却額	78,109	37,329
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,549	△372
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,621	48,375
受取利息及び受取配当金	△3,295	△6,055
支払利息	21,524	44,406
固定資産除売却損益(△は益)	29,128	△43,672
投資有価証券評価損益(△は益)	2,729	—
持分変動損益(△は益)	△303,736	110,268
保険解約損益(△は益)	—	△48,482
売上債権の増減額(△は増加)	△181,668	△13,818
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,175,305	36,188
材料貯蔵品の増減額(△は増加)	90,680	△99,173
販売用不動産の増減額(△は増加)	△377,590	126,188
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,116,953	△2,306,029
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,986,248	42,609
未払金の増減額(△は減少)	△128,700	△436,423
その他	101,923	△458,089
小計	△1,680,391	△1,063,894
利息及び配当金の受取額	3,295	6,055
利息の支払額	△22,000	△45,818
法人税等の支払額	△1,130,617	△1,847,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,829,713	△2,950,671
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,092,383	△1,147,474
有形固定資産の売却による収入	1,250	297,171
無形固定資産の取得による支出	△12,452	△13,990
差入保証金の差入による支出	△83,068	△148,366
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	341,258
保険積立金の解約による収入	—	265,392
その他	25,701	12,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,160,954	△393,965
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,075,000	2,285,700
長期借入れによる収入	—	4,480,000
長期借入金の返済による支出	△629,454	△2,675,654
社債の償還による支出	—	△35,000
リース債務の返済による支出	△28,604	△19,051
セール・アンド・リースバックによる収入	134,484	39,473
少数株主からの払込みによる収入	770,000	60,000
配当金の支払額	△352,946	△407,244
その他	△2,450	△3,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,966,029	3,725,162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	975,362	380,524
現金及び現金同等物の期首残高	3,904,494	8,011,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,879,856	8,392,370

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	注文住宅 事業	不動産 事業	断熱材 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,869,273	3,642,088	3,647,670	137,556	22,296,589	1,178,119	23,474,708
セグメント間の内部 売上高又は振替高	171,977	—	392,334	36,860	601,172	1,363,641	1,964,814
計	15,041,250	3,642,088	4,040,004	174,417	22,897,761	2,541,761	25,439,522
セグメント利益又は 損失(△)	163,074	△182,825	263,078	25,797	269,124	1,187,873	1,456,998

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他の収益を稼得する事業活動であり、戸建賃貸住宅事業、リフォーム事業、FC事業及び持株会社の取引を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	269,124
「その他」の区分の利益	1,187,873
セグメント間取引消去	△629,448
全社費用(注)	△371,764
四半期連結損益計算書の営業利益	455,785

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	注文住宅 事業	不動産 事業	断熱材 事業	介護保育 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	20,094,068	5,569,127	5,589,873	1,840,762	216,827	33,310,659	1,979,219	35,289,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	32,754	424,897	—	38,799	496,451	5,850,339	6,346,791
計	20,094,068	5,601,881	6,014,770	1,840,762	255,626	33,807,110	7,829,559	41,636,670
セグメント利益又は 損失(△)	324,759	112,756	510,080	△72,576	76,587	951,607	5,796,141	6,747,748

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他の収益を稼得する事業活動であり、戸建賃貸住宅事業、リフォーム事業、FC事業及び持株会社の取引を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	951,607
「その他」の区分の利益	5,796,141
セグメント間取引消去	△5,066,894
全社費用(注)	△468,657
四半期連結損益計算書の営業利益	1,212,195

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、ライフサポート㈱の株式を追加取得し、連結の範囲に含めております。これに伴い報告セグメント「介護保育事業」を追加しております。

## 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、北都ハウス工業㈱の全株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、注文住宅事業で130,133千円、不動産事業で29,853千円であります。

また、ライフサポート㈱の株式を追加取得し、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、介護保育事業で695,079千円であります。